

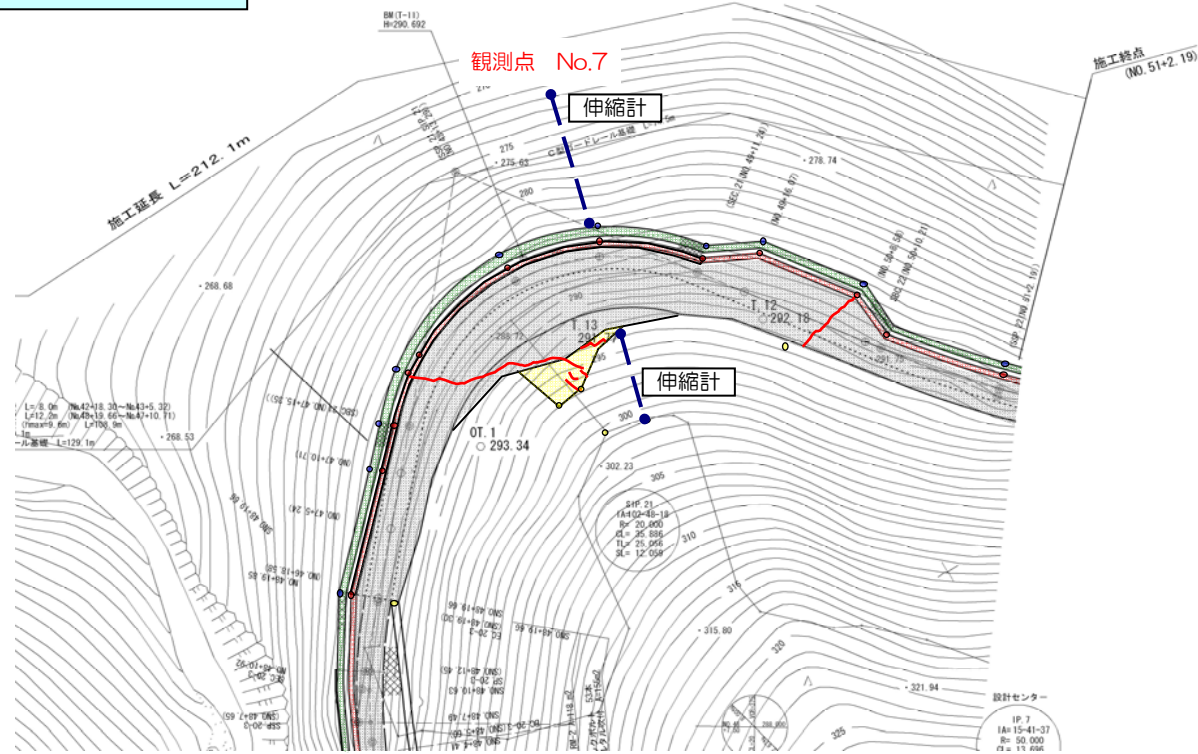
付替林道工事の調査状況について

平成21年8月28日(金)
太田川ダム建設事務所

7月30日に路面と構造物の一部に変状が確認された付替林道工事について、毎日変状を観測してきましたが、当該区間の荷重を軽減するための応急対策や、雨水の浸透を防止するための措置などの効果もあり、ほぼ変状が収束しました。

今後も調査を継続し、対策を検討していきます。

観測位置図

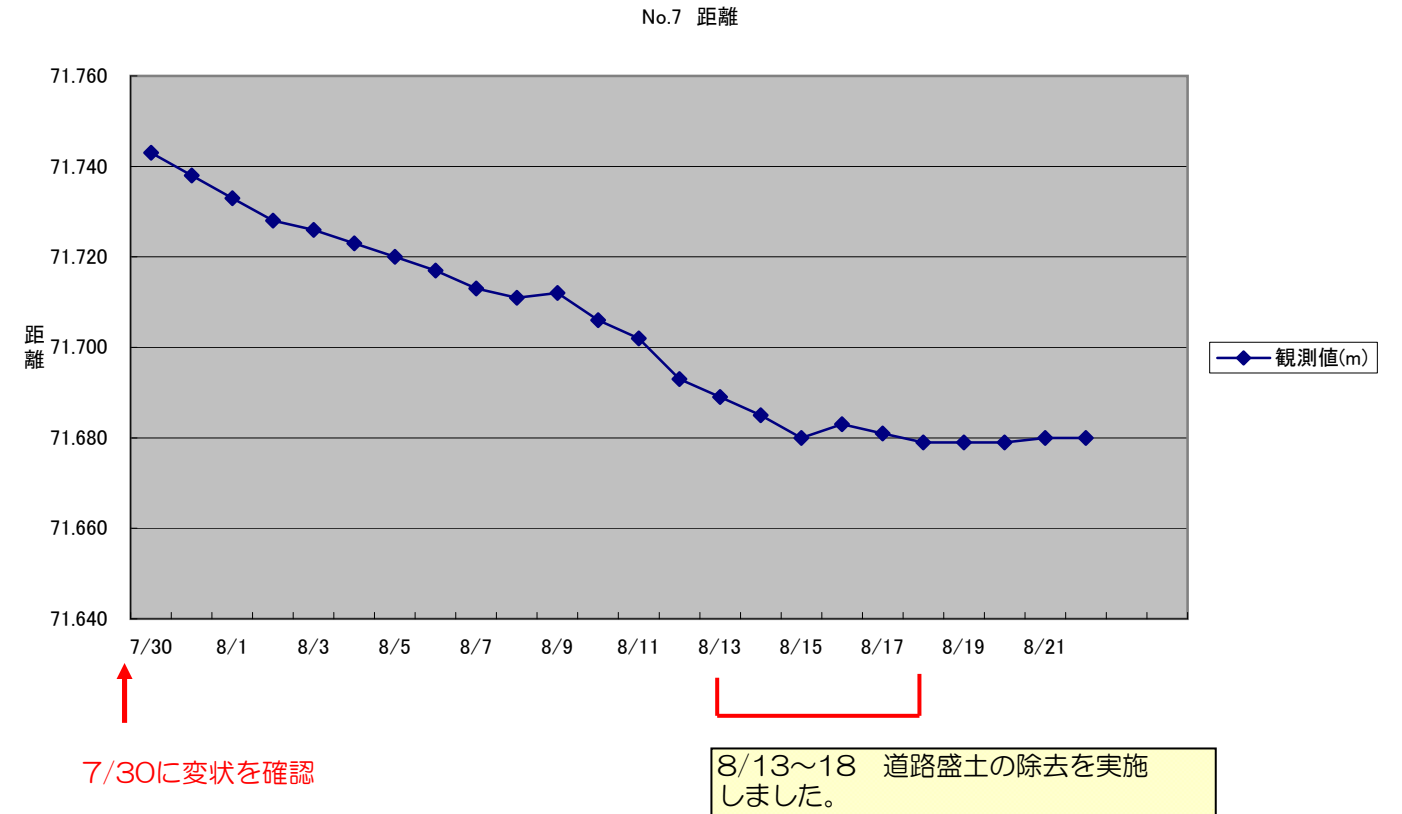


調査及び応急対策

- 調査項目
 - ①変位量調査 光波測量による位置の観測
 - ②移動変形調査 伸縮計による観測
 - ③目視による巡視
- 応急対策
 - ①変状範囲への雨水の浸透を防止するため、ブルーシートを設置しました。(8月1日完了)
 - ②構造物(擁壁工)への荷重を軽減するため、道路盛土の除去を実施しました。(8月18日完了)

今後の経過についても、随時お知らせします。

変位量が最も大きい観測点 (No.7)の変位グラフ (光波測量による観測)



対策状況写真



法面の動きを監視するため、伸縮計による観測をしています。(8月11日～)



荷重を軽減するための道路盛土の除去が完了しました。(8月18日)